NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN, KANSAI
日本ニュージーランド協会(関西) 創立1970年11月
会報 2012 年 3 月

第 232 回例会 2012 年度総会

日時 4 月 14 日(土) 総会 16:00 ～16:45 懇親会 17:00～18:30
場所 中央電気倶楽部 会員特別食堂
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号 TEL:06-6345-6351(代) (地図は別ページ)
懇親会費 4,500円 飲み物は個人清算
お申込み締め切り:4月 10 日(火)までに同封はがき又はメールで協会事務局までお申込みください。
4 月12日(木)以降お取消の場合は会費全額をいただきます。
尚、申し訳ありませんが 3 月 27 日～4 月 10 日事務局不在となります。あらかじめご了承ください。

予告
第 233 回例会 NZラム＆ビーフ 調理と試食

今年もやります人気例会。 新会員勧誘のチャンス！ 今からご予定下さい。

日時 5 月 12 日(土) 午前 10 時 00 分～午後 1 時 45 分
場所 こうべ市民福祉交流センター4 階 調理室

ラム料理、ビーフ料理 皆様のご自慢レシピを大募集致します。
また、NZの美味しいデザートのレシピをご存じの方もぜひお知らせ下さい。
4 月末までに事務局にご一報を！

第 231 回例会の報告 クリスマス例会

事務局:〒530-0028 大阪市北区万歳町 3－41 城野ビル 201
電話:(06) 6367 1773 FAX: (06) 6367 1793 **makltd@d1.dion.ne.jp**
ホームページ http://nzsocietykansai.com/

2012 年 3 月 20 日発行会報

第 231 回例会　クリスマス会の報告

12 月 23 日（金・祝日）、神戸外国倶楽部で恒例のクリスマス会が開催されました。

今年はゲストに田中郷子さんと村上祥子さんをお迎えして美しいソプラノをお聞きしながらおいしい料理を頂きました。参加者は総勢 47 人であり、民博のピーター・マシュー博士のほか、二人のオーストラリアからおいでの方も参加くださり、いっそう華やかなクリスマス会となりました。

会場も神戸外国倶楽部の一番大きなホールを使わせてもらえることになり、昨年度の 40 周年記念例会を思い出させる豪華な例会になりました。

今年は最初に田中郷子さんのリードでニュージーランド国歌を全員で斉唱しました。その後呉橋会長のご挨拶があり、続いて、当協会会員同士でご結婚なさった佐藤慎平君と佐藤真弓さんからご挨拶をいただきました。お二人は今後ニュージーランでご活躍される予定です。続いて、出席者全員が 1 分間スピーチを行いました。時々制限時間を知らせるベルが鳴りましたが、無事、時間通り終わり、楽しみにしていたコース料理が始まりました。

スペシャルゲストの田中郷子さんは阪音大声楽部卒業、神戸大学大学院修了、芦屋市在住、声楽家として活躍していらっしゃいます。また、西宮高校音楽科にて後進の指導にもあたっています。国際経験が豊かで英語、イタリア語、スペイン語が堪能です。ラオスにピアノや楽譜を送るNGO活動も行ってらっしゃるそうです。ピアノ演奏は村上祥子さんで、息の合ったお二人による美しい曲に全員が酔いました。曲目はプッチーニ 「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」、東日本大震災の被害にあわれた方へささげる「荒城の月」、プッチーニ「トスカ」より「歌に生き、恋に生き・・」、賛美歌第二編219番 「さやかに星はきらめき」、ニュージーランド・マオリソング「ヒネ　エ　ヒネ」でした。

「ヒネ　エ　ヒネ」 は全員で一緒に歌いました。その時の様子を写真に示します。また、このときの映像と歌声をインターネットの http://youtu.be/fEKhSasnJ08　で楽しむことが出来ます。当協会のホームページからも閲覧できますので、是非、もう一度お楽しみください。アンコールでは「もろびとこぞりて」「ザ　クリスマスソング」を歌っていただき、クリスマス気分がぐっと盛り上がりました。

すばらしい歌声を聞いた後、プレゼント交換をし、最後にビンゴを若手会員のリードで楽しみました。

今年のバザー売上金は 22,650 円でした。ご出品いただいた各位へ感謝いたします。また、西川理事よりクリスマスお祝い金 1 万円をいただいております。

桑原　耕治　記

参加者（敬称略）

Ph D. Lentfer　Carol, Ph D. Peter　Matthews,
Ph D. Specht　Jim, 石井　久行, 大矢　昇, 奥野　佳恵,
片波見　徳将, 片波見　敦子, 貴志　康弘, 北野　偉智子,
行天　幸子, 行天　茂夫, 呉橋　真人, 桑原　耕治,
佐 藤　敞, 佐藤　慎平, 佐藤　真弓, 下田　恭子,
下田　英智, 下村　葉子, 宗佐　保, 太津　隆司,
田中　郷子, 田中　まなみ, 永田　美夜子, 中谷　紀子,
難波　ヤス子, 西川　精一, 畑中　佳奈子, 林　園子,
林　弘子, 塙　幸子, 平戸　ヨウ子, 牧　初代,
正木　紀通, 松元　舜, 松元　美智子, 三浦　治郎,
宮 崎　協子, 村上　祥子, 森川　和代, 柳田　勘次,
山下　誠二, 山田　輝子, 山野　敏子, 吉田　恵,
吉田　青入子

ソプラノ　田中郷子さんからのメッセージ

12月23日の『日本 NZ 協会関西のクリスマス例会』はとても印象深く、楽しいひと時でございました。

昨年4月ごろに呉橋さんとお話させていただく機会がありました。その折にクライストチャーチと神戸の関わりをうかがい、いつの日かクライストチャーチで歌いたいと想うようになりました。それからしばらくして、秋から冬になるころでしょうか、呉橋さんからこの例会のお話を頂きました。

当日の例会では、会員の皆様の素敵なお人柄と、ニュージーランドへの熱い想いに触れ、ニュージーランドへの憧れや親しみはぐんと増しました。何度も行かれた方、NZ に拠点を移される方などのお話を聞けば聞くほどに本当に素晴らしいところなのだろうなぁと夢は膨らむばかりです。また、ピアニスト・村上祥子さんとは今回が初顔合わせでした。村上さんとの共演も幸せな機会でございました。

2012年が始まりました。クリスマス例会で過ごした皆様との温かい時間を胸に、元気一杯今年も歌いたいと思います。

今年も皆様にとって、健やかで楽しい一年となりますようお祈り申し上げます。

伴奏をしていただいた村上　祥子からのメッセージ

今回初めてニュージーランド協会の会合に、声楽の田中郷子さんのピアノ伴奏で参加させて頂きました。

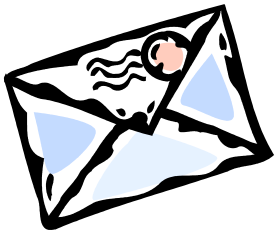
お食事をしながら、会員の皆様に私達の音楽で、よりクリスマスの雰囲気がお届けできたらいいなと、田中さんと曲目や衣装などを考えました。皆様からの温かい拍手を頂きな

がら、一曲ごとに気分が良くなり、こんなに気持ちの良い本番は久しぶりでした。ありがとうございました。

私は年に数回、マックの呉橋さんにお世話になりながら、音楽関連で海外へ出掛けます。最近になってようやく本気で英会話の勉強をするようになりました。丁度、次は英会話の実力試しにニュージーランドに行ってみたいな、と思っていた時に、クリスマスパーティーのお話がありました。

会員の方々からニュージーランドの魅力を沢山お聞きしましたので、益々行ってみたくなりました。

音楽をやって来て、皆さんとお知り合いになれたきっかけを大切に、また何かの機会でご一緒できることを楽しみにしています。



投稿

ニュージーランド出張記

喜田　靖夫

今年は久しぶりに NZ の地を踏むことになりました。

小生が、最後に NZ の土を踏んだのは、三十有余年以上は遡ることにもなります。若い人から見れば、一昔も二昔も前のことじゃないか、ということになりますね。

今回の NZ は、たとえ以前に行ったことが無いところであっても、なにもかもが懐かしく、時の流れの速きに今更のごとく驚き慌てた 11 日間でした。以前は水産の仕事でしたが、今回は酪農関係の仕事でした。

当時は、どちらかというとオーストラリアへの出張回数が多かったのですが、NZ でもオーストラリアでも、日本からすれば、似たようなもので、渡航する人も少なく、搭乗するとすぐ横になれるほど空いているケースが多く、NZ ドル、オーストラリアドルは一ドル　450 円で、人口も今の半分に近く、もちろん、羊も牛も、人口の何倍も居るのは今も変わりません。「こんな所まで来て、あんたら羊や牛に何を売っとるんや」、とか言われながら、NZ で鰻の養殖事業をやらんか、とか、南太平洋を回航する定期観光船会社をやってみないか、とか、いろいろなささやきに首を突っ込んできたことをはるか遠く、懐かしく思い出しました。水産では、一人一人が水産会社の社長さんで、小生を入れて合計6人で小型バスをチャーターして、NZ 国内を移動していました。

それぞれが、水産小売業者の他に、ふぐ、イセエビ、一般冷凍大衆魚、市場仲買、はまち、鮪の卸売業者、等々の担当別で、自分の担当でない訪問先の事務所では何の気兼ねも無く、いびきまでかく人もいるような珍妙な団体で、あちこち訪問いたしました。

各地での珍奇な行動は数知れずで、それこそ、一杯飲みながらでも話が尽きないようにも思うくらいです。今ではありえないようなあけっぴろげの商談行脚をしたのも懐かしく思い出しました。

空港からｵｰｸﾗﾝﾄﾞ市内に入るﾊﾞｽの中では、何とか英語力を試そうとした一人が若い可愛い女性がたまたま隣に居合わせたのに目をつけて、話しかけてるな、と思ってみていると、しばらくして、嬉々として「あの人はバーバラさんという名前だが、仲良しになれそうだから、小生に、もっと突っ込んでいろいろと話をしてみてくれんか」、というので、小生が話しかけてみると、なんと！　バーバラさんでなくて、ｵｰｸﾗﾝﾄﾞ市内でバーバー（barber 理髪店）をしているお嬢さん、ということで、飛んだミスだった、というような、かわいらしい赤恥はまだ序の口だったりしたのを思いだします。

耳にしてはおりましたが、NZ での酪農は日本と比較にならない、というのが実感で、放し飼い同然の乳牛は乳を搾ってもらいに勝手に搾乳場に入り、終わると、牧草の多い仕切りめがけて勝手に入ってゆくという状況で、役所は空からヘリコプターで監督指導、という按配。これでは、日本の原乳のコストとは比べる方がおかしい。

また、残念なことに、ここでも中国勢の浸透が要注意で、初歩的な加工を終えた脱脂粉乳、全脂粉乳の段階でごっそり買付けるやりかたで、各地の牧場主が日本のように複雑な工程、厳格な菌数規格にはそっぽを向く風が醸成されつつあることには衝撃的なショックを味わいました。
日本の“買い負け”がここでもか　やんぬるかな　の思いで、将来の日本の食糧事情に不安感を抱いた次第です。

ニュージーランドを旅して

狭間　博芳

震災と津波、そして人災とも思えるような原発事故によって、ただでさえ狭い国土の一部がさらに失われたかに思えるなか、NZ　が原発を持たず放射能汚染とは無縁の耕地、放牧地や領海で生産される食料の多くを輸出していると知って、旅心が掻き立てられての初めての旅でした。

南北両島を鉄道とバスで駆け抜ける旅でしたが、滞在したすべての都市の路上には、紙コップ、紙屑、ペットボトル、吸殻といった、世界の都市には当たり前に目につくゴミがまったく見当たりませんでした。それはまさに文革さなかの北京市内の路上で観たのと、まったく同じ光景を思い出させてくれました。衣食足りて礼節を知るという菅子の至言が、飢餓を知らない南半球の風光明媚な NZ　では、生きているのだなと感激したものでした。

そして旅の終わりに、ウエリントンからオークランドまで、12時間にわたる直通列車の旅に退屈しはじめた昼下がり、ビュッフェに立ち寄ると、中年のマオリ族の女性乗務員がいきなり片言の日本語で話しかけてきました。彼女の日本語は挨拶程度でしたが、それでもマオリ語と日本語はアエイオウの母音が同じで、とても近い言語なんだと比較言語学の講釈までしたあと、”お腹、空いていない？よかったらサンドイッチを半額にしておくよ”と言ってくれました。彼女が日本語を覚えたのは、80年代から90年代半ばまでの日本人観光客たちが、NZ に大挙して訪問していた頃、オークランドとロトルア間にも同様な直通列車が運行されていて、同じようにビュッフェで勤務していた頃だったとのことでした。

日本人観光客のブームが去ったあと、列車はバス路線に転換され、今ではこの列車一本だけの乗務になってしまい、しかも中国や韓国からの観光客が主流になって残念だ。また日本人観光客にも戻ってきてもらいたいと、昔を懐かしむように話していました。列車は80％程度の乗車率でしたが、そう言えば韓国人や中国人乗客は見かけましたが、日本人客は私たち夫婦だけでした。しきりに昔を懐かしむ彼女に、私がはじめてこの国を訪問して驚いたことの一つとして、街中の清潔さの理由を聞いたら、”ああ、それは100ドルの罰金があるからよ”と、いとも単純明快な答えが返ってきました。私はその回答にいささか落胆すると同時に、あの至言を思い起こさせるには価値ある罰金だなと、逆に羨ましく思いました。せっかく観光庁を創設した日本が、同じ効果を期待しようにも、軽薄なジャーナリストや弁護士たちが、たちまち憲法違反だの人権侵害だのと騒ぎ立てるのがオチだろうなと考え込んだものでした。

Dr 川瀬が酪農指導したキブツ・ヘフチバ

呉橋　真人

3月9日イスラエル旅行中の私たちは思いがけずキブツ・ヘフチバへ立ち寄る機会を得た。ガリラヤ湖からエルサレムへの移動する途中、わずかの時間であったが、車でキブツを一周し、名物の日本庭園の前で 5 分ほど写真を撮った。

年譜によれば協会の創立者 Dr 川瀬は「1965 年 7 月 18 日から 11 月 13 日までイスラエルへ農業コンサルタントとして出張した」とある。具体的にどこにいらしたかを生前お聞きする機会はなかったが、たまたま旅行をガイドして下さった神藤耀（じんどうあきら、日本イスラエル友好協会会長）氏が当時の関係者の一人であったため、「川瀬先生のいらしたキブツへ寄りますか？」のひとことに、一同ぜひと希望した。

イスラエルの穀倉地帯エズレル平野から突然岩だらけのギルボア山がそそり立つところにそのキブツはあった。5百頭規模のホルスタイン種の牛舎が見えた。Dr 川瀬は当時57歳、幼い時から聖書に親しんだ彼は、その舞台であるイスラエル、そしてサウル王（3000年前のユダヤ民族最初の王）が戦死したギルボア山のふもとで、後年発表した「日本民族秘史」の構想を練っていたのであろうか。また若々しい国イスラエルの実験的な集団農場キブツをどう見たのだろうか？今年の宿題とした。

イスラエルは多くの観光客（巡礼グループ）にあふれていた。有名観光地には大型バス20台以上が駐車しており、たいへんな人混み。目立つのは中国、韓国、フィリピン、米国。日本人グループはわずか。しかもグループあたりの人数が少なく高齢。どの観光地も韓国語、中国語の写真集が売っているが日本語はわずか2冊しか見かけなかった。

NZニュースクリッピング

海外にキウィ流出、技能職人材不足となるか

昨年 9 月から今年の 10 月までの間、8 万 4,300 人が国外からニュージーランドに移住したが、同期間に 8 万 4,400 人が、国外に流出している。

この 10 年間で、ニュージーランドを去り国外に移住した人数が、国内に移住してくる人数を超えたのは初めてで、有識者は、この事が技能職部門で人材不足を引き起こすと危惧している。 昨年は、国外に移住した人よりも、ニュージーランドに移住してきた人が 1 万 2,000 人以上も多かったことを考えると、これは相当大きな逆転と言える。

統計局によると、2 月の地震以降、国外に出てゆく人数が増え続けたという。然しながらこれは、海外への流出が長期に渡り継続している中で、10 月になって初めて今年の入出人口が逆転したという結果をも意味する。 10 月までの 1 年間で、4 万 9,000 人がタスマン海を越え、オーストラリアに移住している。

大手リクルート会社 Hays の Jason Walker 氏によると、経済状況が回復しつつある中で、企業の 60 パーセントが技術を持つ人材不足問題に直面しているという。 人材不足は、海外からの技術者で補うことが解決の一案であるとのこと。特に不足しているのは、エンジニアリング、金融、IT 関連。 またオーストラリアも、海外からの労働力を取りこんでいるというのが Walker 氏の見方。 先週エディンバラで開かれた Job Expo で、オーストラリアの企業が、時給にすると通常よりも 30 ドル高い給料で仕事をオファーしていたことを、彼は引き合いに出した。

オーストラリアにこのような出方をされると、ニュージーランドで働くことに興味を持ってもらうことは難しい、と Walker 氏。 クライストチャーチでは、2 月以降 6,000 人が転居し、今も継続して流出が続いている。

社会　 2011 年 11 月 25 日

国民党の大勝利

26 日行われた総選挙では、国民党が総投票数の 48%、国会の 60 議席を獲得して、今後 3 年間引継続して与党となることが決まった。

John Key は、今までの 3 年間と同様に今後 3 年間も政

府を率き、今後ニュージーランドを明るい未来に導く約束の勝利宣言を行った。 労働党は 27%で、43 議席あったのが 34 議席となった。緑の党は 10%以を得票し、前回は 9 人であった議員を、今回は 13 人国会に送り出す。

ACT 党と Mana 党はそれぞれ 1 議席ずつ、マオリ党は前回 4 から 1 議席減り 3 議席の獲得となった。

政治／経済　2011 年 11 月 27 日

ニュージーランド人歌手、オーストラリアで受賞

ニュージーランド人歌手 Kimbra が、彼女のデビューアルバム Cameo Lover で、シドニーで開催されている Australian Recording Industry Association Awards にて、最優秀女性歌手に賞された。

Kimbra はハミルトン出身で、"Somebody That I Used To Know"で人気を得た。彼女は、オーストラリアのシンガーソングライターGotye と共同制作をしている。 ABC のレポートでは、シドニーのバンド Boy and Bear が、デビューアルバムMoonfire で、最優秀グループ及び、最優秀アルバムを含む 5 つの賞を受賞した。

芸能／スポーツ　2011 年 11 月 30 日

暑い夏になりそう

National Climate Centre(NIWA)は、南島の西海岸で平均温度を上回り、残りの地域では平均並みか上回る夏になると予測している。海面の気温も高めと予測されている。

降雨量は、北島北部を除く国内の大半の地域で、通常以下か通常並みと見られている。 ノースランドでは降水量は高めと予測されているが、これも長期の乾燥した気候が続いた後では、恵みの雨となるだろうと、気候科学者は予想している。 NIWA によると、ニュージーランドはラニーニャ現象が発生しており、これは夏の間継続する見込みだが、2010 年ほど激しい結果にはならないという。

生活　2011 年 12 月 2 日

夫は取得した永住権、妻には下りず

60 年連れ添ったインド人夫婦、夫には下りたニュージーランド永住権が、健康面で問題あるとして妻には下りず、夫婦が引き裂かれるかもしれない事態となった。

Vandravandas Shah 氏と妻の Taraben さんは、息子が住むオークランドに 4 年前にやってきた。 移民局は Shah 氏の永住権申請を受諾したが、Shah 夫人は永住権ビザに必要な医療条件に合わずと却下された。 夫妻の息子は、母親がインドに帰っても 1 人では生活が不可能であるため、彼自身の家族がインドへ帰国しなくてはならない事態になる、と訴えている。

Shah 家の移民アドバイザーは、オンブズマンに書面でこの決定に抗議し、また移民大臣にも訴える文書を出すという。夫人は膝の骨関節炎と聴力及び視力に問題があるが、健康面でそれほど問題があるわけではない、移民局は彼女と家族の事情を人道的に理解すべきと移民アドバイザーは語る。 彼らの息子とその妻、また孫たち全員も働いて税金を納めていると、強調した。

移民局のスポークスマンは、夫人は永住権再申請が可能であり、またそれが却下された場合は、法廷に訴えることもできる、と発表した。　社会　2011 年 12 月 4 日

大手4銀を格下げ

格付け会社 Standard & Poor's（S＆P） が世界的な金融恐慌の影響から、オーストラリアを親会社に持つニュージーランド4つの銀行を格下げした。

オーストラリアの ANZ, Commonwealth Bank of Australia, Westpac そして National Australia Bank が AAからAAマイナスに格下げしたことを受け、ANZ NZ, ASB, BNZ, Westpac も格下げとなった。 S＆Pは、今週初めにはヨーロッパや米銀の格下げ、アジアのいくつかの銀行に対しては格上げをしている。　社会　2011 年 12 月 5 日

タバコ税値上、禁煙に一役

非営利団体 ASH NZ によるリサーチで、昨年実施されたタバコ増税でこれまでの 2 倍多くの喫煙者が禁煙を試みていることが分かった。

昨年 4 月に箱タバコの料金が最大 10%、 巻きタバコが 24%値上がりしたが、その前後の喫煙者へのインタビューで 2000 人近くの人が禁煙を試したという。 通常、喫煙者がタバコを止める理由は様々だが、値上は最も有効的な手段であると、調査員の 1 人は語る。禁煙サポートホットラインでは、増税前後では、相談者の数が倍増したという。しかし、最初のショックが静まった後は、相談件数も低下している。

ニュージーランドでは 2025 年までに禁煙国にすることを目標にしており、今年 1 月 1 日にも 10%の値上げをし、その後は店頭にタバコ宣伝掲載を無くすなど努力しており、来年 1 月 1 日にも 10%の値上げとなる見込みである。

社会　2011 年 12 月 6 日

トレッキング死亡事故相次ぐ

南島のトレッキングで死亡事故が相次いでいる。観光地 Franz Josef 氷河で 9 日夜 9 時半頃、4 人のグループがトレッキングコースを外れ Waiho 川を渡ろうとした際、うち 2 名が足を滑らせ川に落ち死亡が確認された。20 歳の中国人女性と 23 歳のマレーシア人女性だった。

9 日には 7 時ごろに Kahurangi National Park において、ネルソン出身 63 歳の男性が他 2 名とトレッキング中、20 メートル程落下し死亡しており、1 日で 3 名の命をトレッキングで失った事になった。　社会　2011 年 12 月 11 日

携帯でネットサーフィン増える

ニュージーランドでのインターネットアクセスの 4 分の 1 が、スマートフォーンやその他の携帯用タブレットからのアクセスであるということが、調査で分かった。

ある調査団体が、1,255 人を対象にした調査で、2007 年には 7%にすぎなかった携帯電話でネットサーフィンをする人が、2009 年には 18%になった。 12%のユーザが、最低でも一週間に 5 時間は、スマートフォーンでネットサーフィンをしている。現在国中でも 86%がインターネットを使用しているが、この使用率は今も上昇しつつある。

生活　2011 年 12 月 13 日

ネルソン洪水で観光産業にダメージ

先週ネルソン地方を襲った大豪雨は、その後の大洪水により多くの場所で地滑りを起こした。これにより、これまで約 300 名が強制避難を課され、立ち入り禁止地区も多く、水道の供給も止まっていることから、多くの宿泊施設や飲食店は営業を停止せざる終えない状況となっている。

ネルソン、タスマン地域の海水浴も一時的に禁止され、今後 6 週 間、行楽客を向かえる観光産業のダメージは余儀なくされそうだ。この地方を襲った被害は 50 年来だという。

社会　2011 年 12 月 19 日

クライストチャーチで引き続く地震

12 月 23 日午後 2 時頃、クライストチャーチでマグニチュード 5.8 の地震が発生してから 6 日後の 30 日午前 4 時 45 分にはマグニチュード 4.4 の地震が発生。前日の午後 11 時には 4.3 の地震がクライストチャーチ東の深さ 10 キロで観測され、大きな揺れとなった。

GNS 観測によると 23 日以降 200 回もの余震がクライストチャーチで発生し、そのうちマグニチュード 5 以上が 4 回発生している。　社会　2011 年 12 月 30 日

1000 万ドルを銀行から盗んだ男性

ニュージーランド主要銀行の一つであるウェストパックから、678 万 2,000 ドルを盗んだとして逮捕された男性に対し、保釈が否決され、男性は引き続き拘留されることとなった。

この男性は、通称 Leo Gao として知られる Hui Gao 氏で、16 の窃盗罪と 2 つのマネーロンダリング罪に問われている。Gao 氏は 2009 年、過度の引き出し金であったに関わらず誤って彼の口座に入金された 1,000 万ドルを盗んだと言われている。30 歳の Gao 氏は、5 日保釈要求のためロトルア地方裁判所に出頭したが、次回 1 月 23 日再出頭するまで拘置所にとどめ置かれる。彼は罪状認否は行わなかった。

Gao 氏は、昨年 9 月に香港で逮捕され、捜査員に付き添われニュージーランドに送還された。

社会　2012 年 1 月 6 日

国内 3 か所で地震発生

6 日金曜日午後、イーストコーストとタラナキで、それぞれマグニチュード 5.1 と 4.1 の地震が発生した。北島のこの 2 つの地震は、継続して発生しているカンタベリー地方のものと違い、地中深い場所で発生した地震であった。

イーストコーストの地震は、ロトルア東 170 キロメートルを中心に発生し、深さは 33 キロメートルであった。午後 5 時 10 分に発生し、マグニチュード 5.1 と記録された。 タラナキではハウェラ西 10 キロメートルを中心に発生した。マグニチュード 4.1、深さは 30 キロメートルとのこと。

カンタベリー地方でも同じく金曜日午後、マグニチュード 3.2 から 5.1 の地震が 3 度あった。深さはどれも 11 キロメートル以内で、クライストチャーチの東、東北部を中心に発生した。　社会　2012 年 1 月 7 日

地震の予兆か　くじらの大量座礁

1 月 6 日夜、ニュージーランド南島最北端のゴールデン湾に突き出たフェアウェル・スピットに約 70 頭のヒレナガゴンドウが乗り上げた。救助活動がおこなわれているが、夜のうちに少なくとも 7 頭が死んだ。

昨年 11 月 16 日にも61頭が座礁し死亡。その2日後に M6.0 を含む3回の地震が発生している。実は NZ で地震が起きると、短期間で日本にも大きな地震が起きる。東日本大震災の発生は182人の犠牲者が出た昨年2月22日のカンタベリー地震（M6.1） の直後である。6月13日に NZ で M6.0 を観測した後の 23 日、30 日と岩手県沖と長野県中部がゆれた。地震の連動性を知ると、日本と NZ で同時に鯨の座礁が見つかっていたのが、より不気味に思えてくる。

「日本と NZ の間には長大な太平洋プレートが連なり、カンタベリー地震と東日本大震災はいずれも、プレートが西に移動して発生しています。共通の性格があって交互のように地震が起きても不思議ではない」と琉球大の木村名誉教授が語る。クジラの座礁は大地震の予兆として有名だ。昨年2月のニュージーランド大地震前には、同国南島南西沖で107頭のゴンドウクジラが海岸に乗り上げていたし、日本でも3・11の1週間前に、茨城県鹿嶋市の海岸でカズハゴンドウクジラが約50頭も打ち上げられていた。

日刊「ゲンダイ」1 月 13 日号より抜粋

熱気球が墜落

7 日土曜日朝、カータートンに近いクレアビルで、11 人を乗せた熱気球が炎上して墜落した。警察の発表では、生存者はいないとのこと。

ウェリントンから北約 80 キロに位置するクレアビルで炎上

墜落した熱気球には、パイロットと 5 組のカップルである乗客 10 人が乗っていた。7 日午後時点ではまだ正確な原因は分かっておらず、炎上が電線との接触によるものか、気球の中で既に発火していたものかは、判定できていない。墜落の途中、電線に接触した後、2 人がゴンドラから飛び降りた、あるいは落ちたとのこと。

この墜落時に近隣の住居では停電となったが、現在は復旧している。 熱気球パイロットは、商業用気球飛行時間 1,000 時間を超える熟練パイロットであったとのこと。 警察や消防署を含める複数の機関が墜落原因の捜査中である。

社会　2012 年 1 月 7 日

コンテナ船 Rena 真っ二つ

タウランガ沖に座礁しているコンテナ船 Rena は、一夜にして二つに分断された。新たに大量の破片が海に散乱しており、警告が発せられている。

分断された船の頭部は以前と同じ場所にあるが、船尾は破損し暗礁から大きく離れている。悪天候も重なり、強いうねりのため、船のハッチカバーがもぎ取られ積荷が更に散乱している。 Maritime NZ によると、少なくとも 30 のコンテナが沈むか浮遊しているという。更に紛失したコンテナも多いとのこと。

ベイオブプレンティ地方カウンシルは、警戒海域を拡大する予定。原油流出の可能性に備えて、対策チームも組まれている。　社会　2012 年 1 月 8 日

今年のビジネス展開良好の見込み

Grant Thornton International 社の International Business Report(IBR)によると、ニュージーランドのビジネス動向は、2011 年の下降傾向から上昇に移り、オーストラリアをも大きく上回る良好な展開となると予想されている。

ニュージーランドの強い輸出市場と、中国やインドなど新興市場での売上げ成長を鑑みて、今年の第 1 四半期ではニュージーランドビジネス界が、36 パーセントの拡大が期待されており、前四半期の 32 パーセントと比較しても上昇傾向にある。これと比較して、オーストラリアは 24 パーセント、アメリカ合衆国はわずか 1 パーセント、英国はマイナス 35 パーセントと見込まれている。

この調査で、ニュージーランドがオーストラリアを上回ったのは今回が初めて。仕事市場の改善、失業率の低下、為替レートを抑えるなどの対策が、調査結果の要因の一部であるという。

今年は多くの労働者の賃金値上げが期待される一方で、リサーチや開発に対する投資縮小が見込まれており、これに対する懸念の声が上がっている。この調査は、39 の国々の 1 万 1,000 企業を対象に行われた。

社会　2012 年 1 月 9 日

RWC ワールドカップが与えたビジネス影響

昨年ニュージーランドで開催されたラグビーワールドカップが国内のビジネス産業に与えた景気を調べる調査により、思った以上に例年より良かったと回答する人々が少なかったことが分かった。

この調査はニュージーランドツーリズム産業団体連合(TIA)が 121 名の TIA 会員を対象に昨年 11 月に行った。その結果、半数に満たない 46.3%の人が、一昨年同時期よりも良かったと回答したのに対し、18.2%が「一昨年と変化無し」、33.9%が、「一昨年よりも悪かった」と回答した。中でもモーテル部門では、ワールドカップ開催中に国内や企業関連の旅行パターンが途絶えたことで悪影響を得たほか、一部のアクティビティやアトラクション部門では、通常得られる顧客集客が得られなかったことで不況の結果となっていた。

TIA ではこの集計結果を基に、今後国内で行われる The 2015 FIFA U-20 World Cup や 2015 ICC Cricket World Cup など主なイベント開催に向けて対策を講じ、旅行産業に利益をもたらしたいとしている。

社会　2012 年 1 月 10 日

ガソリン代リッター5セント値上げ

ニュージーランド国内の主要石油元売会社、BP、Caltex、Mobil 及び Z Energy 社は、11 日水曜日の午後より、91 オクタンのガソリンをリッターあたり2.119ドル(132 円)に値上げした。ディーゼルの価格は今まで通り。

値上げの理由として、イランと西側諸国の外交危機を含む中東の不安定な情勢を上げている。この数週間イランは、核問題をめぐり欧米諸国が制裁の動きを強めていることを受け、ホルムズ海峡の封鎖に関し強硬発言を続けている。ホルムズ海峡は、湾岸諸国からの主な原油搬出路である。

Z Energy 社のスポークスマンは、会社としてこれ以上値上げを踏みとどまることは不可能、と発表した。然しながら、Gull 社はガソリン値上げを公表していはいない。

政治／経済　2012 年 1 月 11 日

政府のオフィス、クライストチャーチ中心部より移転

クライストチャーチの 2 つの政府主要機関オフィスが、市の中心部から離れた場所にオフィスを構えるため、9 年間のリース契約を交わした。

市の中心部に再建設を基本としたクライストチャーチ市の計画に反して、IRD と社会開発局は、この長期契約にサインすることを決定した。IRD の担当者によると、オフィスは空港に近いラスズリーロードに、今年末までに移転する予定であるという。

継続して起こっている地震のために、スタッフは業務運営に支障をきたし、カシェルストリートのオフィスに戻れる日が見通し困難な状態にあるため、これを決定したとのこと。建物内のアクセスが可能になれば、オフィス修復に着手する、と担当者は語っている。 社会　2012 年 1 月 12 日

「紙のカテドラル」～NZ震災復興のシンボルが呼ぶ波紋

By クローディア真理

瓦礫の撤去作業が進む町の中央にかろうじて立つクライストチャーチのシンボル、クライストチャーチ・カテドラル。このカテドラルの当面の代わりとして、日本人建築家、坂茂氏の手による仮設カテドラルの建設が計画されている。復興のシンボルとなり得るこのプロジェクトだが、市民の反応はさまざまだ。

向こう10年間の予定で、信者たちの祈りの場となるのは「紙のカテドラル」。これには、過去に世界各地で災害救援プロジェクトを出がけたことで知られる、坂茂氏がカテドラルのスタッフとの約3ヵ月の話し合いの末、2011年7月末に発表したものだ。主な素材は紙製チューブ。もともとのカテドラルの平面と立面のジオメトリーを意識し、同じ長さの紙製チューブの角度を徐々に変化させ、三角形の断面を形成したつくりになっている。

「紙のカテドラル」のモデルの外観。紙とは思えない落ち着きと温かみが感じられる＝（C）Shigeru Ban Architects

「紙のカテドラル」は、サステイナブルで環境に優しく、安全で耐久性に優れ、美しく革新的で、しかも用途が広範な仮設カテドラルを造りたいという、カテドラル側の多くの希望を形にしたものだ。収容人員は700人で、建設には3ヵ月かかる。風雨や積雪はもちろん、火事や地震に対しても十分な耐久性があるという。材料となる紙製チューブは地元ビジネスをサポートしようと、市内で製作。役目を終えた際はリサイクルする。気になる建築費は約400万NZドル（約2億4,000万円）で、すべてカテドラル側が負担する。

■複雑な被災者の心中

崩壊してしまったカテドラルは、ゴシック・リバイバル様式の建築物を多く設計したことで知られる、英国のジョージ・ギルバート・スコットがデザインし、19世紀後半に建設された、伝統的なスタイルだ。それに比べ、デザイン、素材ともに斬新でモダンな仮設カテドラルには、賛否両論が寄せられている。

「素晴らしいデザイン。ぜひこのプロジェクトをサポートしたい」「これがきっかけとなって、復興作業が迅速に行われるようになると良いと思う」「10年間そこにあれば、観光客召致の役に立つようになるはず」と、賛成する市民がいるのは事実。しかし、多くの人が反対、懸念しているのは、その費用だ。

「紙のカテドラル」のモデルの内部。今年のクリスマスはこんな仮設カテドラルで祝われることになる＝（C）Shigeru Ban Architects

「これだけのお金を仮設カテドラルにかけるより、教会として今も困っている被災者に助けの手を差し伸べるべきではないか」「仮の建物に莫大なコストをかけずに、被害を受けたカテドラル自体の修復、再建費、または新築費にまわすべき」と、手厳しい。

被災者は、大地震と、現在も続く余震のため、今も物理的、精神的ダメージを受け続けている。そんな中、巨額の費用をかけて、紙製の仮設カテドラルを建設する意味はあるのかというのが、反対者の大方の意見だ。

■建設予定地の問題も

費用のほかに、2011年12月初めに浮上したのが、仮設カテドラルの建設予定地の問題だ。カテドラル側は市内にある165ヘクタール　のハグレー・パークの一画に建設したいと希望していた。これに関しては同市の評議会が認可するか否かを決定することになったが、評議員の意見は二つに分かれている。

「復興作業全体が思うように進まない中、ハグレー・パークを提供し、このプロジェクトが実現すれば、市民にとって励みになるのではないか」という見方がある一方で、「同パークで行われる大きなイベントの妨げになる」「市の土地を一団体に10年間貸すというのはあまりにも長期間に過ぎる。

これを前例としてほかの団体から同様の要望があった場合対応できない」という評議員もいた。

カンタベリー地方の地元紙である、『ザ・プレス』が行った世論調査によれば、カテドラルは市のシンボルなのだから、市の土地を使っても構わないという人が全回答者の27．5パーセント、市の土地ではなくカテドラルの所有地を使うべきと答えた人は72．5パーセントという結果だった。

■決定後も続く論争

1月4日、カテドラル側は6月までに完成の予定で、「紙のカテドラル」の建築に踏み切ることを発表した。予定地は物議を醸したハグレー・パークではなく、地震の影響でさら地となった英国国教会の土地。この決定について、「気が違ったとしか思えない」「今やらなくてはいけないことを分かっていない」と、反対する市民はさらに語気を強めている。そしてそれは英国国教会への非難にもなりつつある。

2度の大地震、そして多発する余震の中、被災者を支えたのは何だったか。それは市民ひとりひとりのいたわりの心だったはずだ。自分のことは後回しにしてでも、ほかの人を助ける、ごく普通の人々の姿は印象的だった。町の再建が始まった今、必要とされているのは震災直後同様、人々の結束なのではないか。仮設カテドラルをめぐって、市民が二分されてしまうのは、あまりにも残念なことだ。

（1月19日　グローバルプレス）

ニュージーランド大地震～意欲的な復興プランのたくましさ
By クローディア真理

ニュージーランド南島のカンタベリー地方は依然としてマグニチュード5クラスの余震が頻発している。先行き不透明な状態が続き、復興作業も思うようには進んでいない。しかし、深刻な被害を受けたものの、クライストチャーチ市の中心部の地盤は、この先も建物の建築に耐えうるという報告書が2011年12月13日に発表された。より強健な土台を築く基礎工事は必要だが、これで市の中枢機能をまったく別の場所に移す必要がないことがはっきりした。

■復興計画最終草案提出―再建作業、徐々に本格モードに

報告書の発表2日後にはカンタベリー・アースクエイク・リカバリー大臣である、ジェリー・ブラウンリー氏に提出するための復興計画の最終草案がまとまった。これは、評議員のアイデアだけでなく、市民の声も取り入れるため、2カ月半にわたり行われた「シェア・アン・アイデア」キャンペーンの結果を積極的に反映させたものだ。

草案では、地震の影響で多くの建物がダメージを受け、取り壊されたり、すでに倒壊してしまっている市の中心部のビジネス街が、この草案では、今までよりかなりコンパクト化されて復興する。また、民間企業にこのエリアに投資、開発してもらおうと、公営企業による資本を投入し、民間企業への全面サポートを約束している。

ここで予定されているプロジェクトは70以上。それにはコンベンションセンター、中央図書館、スポーツ施設などの建設、エイボン川沿いの公園の設置、カテドラル広場の緑化、新たな交通機関、ライトレールの導入などが含まれる。

民家に関しては、2011年12月20日にアースクエイク・コミッションが、約10万戸の修理を2014年までに完了させる予定と発表した。特に5万NZドル（約300万円）を超える損害を受けている家屋に関しては、優先的に修理を進め、2013年6月までにその完了を目指す。日に70軒という現在のペースを考えると、この目標達成は決してたやすくはないが、実現できなくはないと考えられている。家屋の修復のためだけでも約9，000人の大工、塗装工、左官屋といった熟練工が関わっており、市の中心部での復旧作業が本格化すれば、人材のニーズは拡大するばかりだ。

■復旧工事のピークを考慮に入れ、人材を育成

一方、カンタベリー地方の復興作業に携わる人材を育成するためのプロジェクト、「スキルズ・フォー・カンタベリー」は、2011年2月22日の2度目の大地震後3カ月経たないうちに発表された。予算は4，200万NZドル（約25億2，000万円）。再建作業のピークと見られる、向こう2～4年の間に高まる熟練工への需要に対応するため、カンタベリー地方だけでなく、全国でさまざまな体制が組まれている。

高等教育機関への資金提供を行っているターシャリー・エデュケーション・コミッションは、南島にある3校をはじめ、全国のポリテクニック（総合技術専門学校）に、復興活動に携わるための資格取得を目指す学生を大々的に募集するよう呼びかけている。

各校のプログラムも、復興作業を優先したフレキシブルなものに変更している。例えば、全トレーニング期間が36週にわたる大工職の資格を専攻した場合、全期間を通しで学ぶのではなく、それを三分割する。つまり12週間ずつのトレーニングを3回受け、その合間に実際の作業に携われるように配慮しているのだ。

2011年2月22日の大地震、そして収まる様子を見せない余震のためにすでに多くの人々がクライストチャーチを後にしている。これには土木技師、電気技師、家具職人といった専門職の人々も含まれる。カンタベリー地方では不足する人材を求めて、外国人も積極的に受け入れている。2011年12月現在、移民局は国内だけではまかない切れないこうした職種に関し、71人の外国人に一時就労ビザを発給している。これらの大半は英国人だが、その他にアイ

ルランド、フィリピン、米国、マレーシアなどからも人材を登用している。

■人材育成には、復興作業以外の狙いも

この震災の再建事業に付随する人材調達法がユニークなのは、一石二鳥を狙っているものがある点だ。被災地再興のための人材育成、確保を行う際に、他の社会問題解決のための手だても盛り込まれている。

そのひとつが、クライストチャーチ男性専用刑務所の受刑者へのトレーニングだ。希望受刑者は、指定の更正プログラムの修了、読み書き計算を学ぶことを条件に、配管工事、屋根ふき工事、排水管工事、塗装工事などの職業訓練を受けることができる。

その内容はクライストチャーチ・ポリテクニック・インスティチュート・オブ・テクノロジー（CPIT）で行われている授業とまったく変わらず、これを修了すればレベル2の国家資格を取得することができる。出所後、トレーニングを修めた者は市の再建に貢献することになる。資格を得て、定職に就いた出所者の再犯率は低くなるため、治安上でもメリットが生まれる。

CPITでは、南太平洋諸国系の学生にスキルを身につけ、復興の手助けをしてもらおうと、「パシフィカ・トレーズ・トレーニング」イニシアチブを実施している。これにも一挙両得の意義がある。再建に少しでも多くの人材を投入するために、南太平洋諸国系の学生にトレーニングを奨励しながら、それと平行して、高等教育が行き渡っていない南太平洋諸国系の人々への教育のてこ入れも兼ねているのだ。

スキルズ・フォー・カンタベリーもこのイニシアチブを奨学金給付の形で後押ししている。南太平洋諸国系学生を対象とした、復興事業関連の教育のための奨学金を全国で300人分用意しており、そのうちの100人分はCPITで資格を取得する者に給付される。

復興計画の最終草案を発表した際、ボブ・パーカー市長は、「2011年2月22日の大地震で、私たちはクライストチャーチ市中心部を改善、一新する『千載一遇』の機会を得た」と非常に前向きな意見を述べている。

尋常ならざる事態でありながらも、復興のための人材育成、確保の方法に、ほかの社会問題解決の糸口をも組み入れる。これからのカンタベリー地方を、そしてニュージーランドをさらに住み良い社会にすべく、前進しようとするニュージーランド人のたくましさと意気込みを感じた。

ニュージーランド国内興行収入の記録を塗り替えた新作『ボーイ』とは？11 歳の少年が主人公！

2010 年に公開され、ニュージーランド国内の過去最高興行収入ををたたき出した話題の作品『ボーイ（原題） / Boy』について、タイカ・ワイティティ監督が語った。

同作は、マイケル・ジャクソンが世界を席巻していた 1984 年のニュージーランドの田舎町ワイハウベイで、マイケルを崇拝していた 11 歳の少年ボーイ（主人公の名前）は、祖母と弟ロッキー、ヤギのリーフ、さらに数人の従兄弟たちとともにのんびり暮らしていた。だがある日、祖母が葬式の用事で一週間留守にしている間に、全く顔さえ覚えていない父親アラメインが、突如刑務所から友人を連れて戻ってきて、一波乱起こしてしまうというコメディ／ドラマ作品。

この映画はニュージーランドのユニークな社会が描かれているが、制作経緯については「実は 2005 年に見捨てられた子どもたちを題材にした短編を製作し、その後サンダンス・インスティテュートのライターズ・ラボで長編用の脚本を書いたが、ユタ州の子どもたちではなく、僕が生まれ育ったホームタウン、ワイハウベイに移しかえて撮影することを決めたんだ。撮影は、実際に僕が以前に住んでいた祖母の家で行った。祖母の家で育った環境は、この映画ほどユニークなものではなかったが、町全体が子どもたちによって動かされているような感じで、僕ら子どもたちは自由にこの田舎町を探索していたんだ」と当時を振り返った。

マイケル・ジャクソンの影響について「当時は、インターネットや携帯もなかった時代で、本当に限られたテレビの世界だけのつながりでしか、物事を知ることができなかったが、僕らの町の子どもたちはみんなマイケル・ジャクソンが好きだったんだ。もっとも、当時の僕らはあのマイケル・ジャクソンもボブ・マーリーも、僕らの町のスターで、僕らの家の近くに住んでいると思っていたけれどね！（笑）」。映画内では、そんな田舎町の世界観がほのぼのとさせてくれる。

この映画は、ニュージーランド国内で過去最高の興行収入を稼いだが、何が観客に受け入れられたのだろうか。「まず、僕らニュージーランド人を描いた作品で、泣いたり、落ち込むことなしに観られるコメディ作品だったからだと思う。ニュージーランドの映画の多くはダークな題材を扱った映画が多く、特にマオリ語（ニュージーランドに住んでいるマオリ族の言語）を使った映画には、そういうダークな作品がすごく多い。だから、みんなが笑えるニュージーランドを描いた作品で、さらに子どもの扱い方を問題提起した映画ではなかったことが良かったと思っているんだよ」と満足そうに答えた。

最後にタイカ・ワイティティ監督は、この映画に出演した子どもたちは、すべてが現地の子どもたちで、一度も俳優経験のない子たちばかりだったということ、実際に主役ボーイを演じたジェームズ・ロールストンは、撮影 3 日前にキャスティングされたことを語った。映画は、地球の反対側では、こんな作品が作られているんだと、ホッとさせてくれる映画に仕上がっている。（取材・文・細木信宏/Nobuhiro Hosoki）

ニュージーランドの人口増加率落ち込む

昨年ニュージーランドの人口は増加率は、過去 11 年間で最も低い記録となった。

統計局によると、国民の人口は 29,600 人増加した。

誕生が死亡を上回るという自然増加が 31,400 人で、これは 2005 年以降最低。

ニュージーランドに移住する人よりも、ニュージーランドから出てゆく人の数が約 2,000 人も上回った。

過去 20 年間、平均的に毎年 1.2%の人口成長率を継続していた。最も高かったのが 2002 年の 1.9%で、最も低かったのが 2000 年の 0.6%となっている。

ニュージーランド居住者数は現在 442 万人と見積もられており、来年は 450 万にに達すると予測されている。

NZ大好き　社会　2012 年 2 月 19 日

旅行者には意外に高いニュージーランド
あるアメリカ人のトラベル・ブロガーが、ニュージーランドの食品価格が高いことに非常に驚いた、とそのブログに書いている。

米雑誌スミソニアンマガジンで受賞されたこともあるフリーのライターAlastair Bland 氏は、彼は今まで 42 カ国を旅したが、ニュージーランドは最も高い国の一つ、と書いている。

サンフランシスコ出身の Bland 氏は、サケ釣りやオポッサム狩りについて読者に紹介し、そして驚くほど食品価格が高いと嘆いている。

タマネギ、ニンニクは合衆国の約 5 倍、アプリコットに至っては 14 倍も高いと、ブログの中で語っている。

ニュージーランドは、安さを求めている人の旅行先にはならないが、自分自身は 2 週間の旅行を、更に 2 週間延長することを考えているという。

「景色は本当に素晴らしいし、人々は気さくで親切。ちょっぴり高いお金を払わなくてはならないが、その価値は充分ある」と Bland 氏。

NZ大好き　生活　2012 年 1 月 27 日

ニュージーランド人の幸せ度調査
幸福について、ある電話調査によると、仕事と生活のバランスに満足している人が最も幸福と感じているという。

このバランスをよくすることで、ニュージーランド人の幸せはより高まるとのこと。

調査対象者の約半数は、仕事と生活の調和に満足しており、大変幸福であるという結果となった。

さらにこの調査では、政治的に自らを右翼と認識している人は、左翼の人よりもより幸福であるという結果も出している。

また 3 分の 1 の人が自分のくらしに満足していると答えているが、約同数の人が不幸であると答えている。

調査は 2011 年 12 月初頭に、750 人のニュージーランド人に対して行われた。

NZ大好き　生活　2012 年 2 月 29 日

クライストチャーチ大聖堂解体へ

【3 月 2 日 AFP】ニュージーランドのクライストチャーチ（Christchurch）で前年 2 月に起きた大地震で倒壊したクライストチャーチ大聖堂（Christchurch Cathedral）が、解体されることが決まった。教会関係者が 2 日、明らかにした。

131 年の歴史を持つ大聖堂はクライストチャーチのシンボルだったが、185 人が犠牲となった前年 2 月の大地震に加え、6 月と 12 月の余震でもさらに損傷を受けていた。

クライストチャーチ主教によると、修復にかかる費用が 5000 万ニュージーランド（NZ）ドル（約 34 億円）～1 億 NZドル（約 68 億円）と巨額なうえ、聖堂内は現在も人が立ち入れない危険な状態で、今後も地震が起きる恐れがあることから再建を断念し、解体を決断したという。

解体にあたってはまず 2～3 メートルの高さを残して壁を撤去し、芸術的価値の高い聖堂内の装飾などを安全な場所に移動する計画という。(c)AFP

格安航空会社、クライストチャーチ便運休へ

マレーシアの格安航空会社（LCC）で知られる Air Asia X が Kuala Lumpur と Christchurch 間を結ぶフライトを、今年 5 月末をもって運休すると 12 日発表した。

昨年 4 月より始まったこの 11 時間に及ぶこのフライトは、週に 4 便運行されており、搭乗平均が 80%、今年の 1 月はそれまでの搭乗率の記録を更新するなど順調で、南島に 2 万 5 千から 3 万人もの訪問客が Air Asia X を使って入国してきたと予想される。

Christchurch and Canterbury Tourism の Hunter 責任者の話 によれば、Air AsiaX は＄60 ミリオンもの収益を南島にもたらしたという。

しかしながら、Air Asia X の Osman Rani 最高責任者（CEO）は 1 年前と比較して 30%も燃料値上がりの影響も

あり、収益性を考えた結果、運休に踏み切ったと言う。

ロンドン便などの長期飛行線も同様、運休に踏み切る。

運休以降の便を購入済みの顧客には全額の払い戻しをするか、オーストラリア便などの他の路線への変更を行うとのこと。

NZ大好き　社会　2012 年 3 月 14 日

3月12日東京砂防会館で行われた反TPPでのNZ国会議員の発言

NZ の国会議員ラッセル・ノーマン「TPP についての最初の懸念は、内密に秘密裏に行われていること。TPP の文書は、政府が関わっている企業グループとは共有しているが、一般市民および議員には公開されていません。交渉がこのまま進むと議員は最終的に合意された文書が提示されるのみになる。私たちはこれをイエスかノーで採決することしかできず、議会がこれを採決することになっても作業文書は内密にされます。政府が使う全ての作業文書は TPP の内容を知るために国民に不可欠ですが、文書は 4 年間も非公開となります。議会が TPP の完全な影響を理解するのは困難です。

次に、TPP の主な標的は国内の法律です。国内措置よりも国境措置が大事だということで、だからこそ『21 世紀型の貿易交渉』だと彼らは呼んでるわけです。この意味は、多くの分野において、TPP が国内法を今後規定していく、長年にわたってそうなってしまうということ。金融部門については信じられないと思いますが、世界金融危機が起こったというのに、政府の資本の流れに関する規制の力を弱めようとしてるわけです。金融危機が起こったときに備えて規制を強化しようとしているにも関わらずです。

政府調達や環境規制についても政府の力を弱めようとしています。彼らはこういったことを全て秘密裏に非公開の交渉でやろうとしている。しかも、各国の国民や国会議員の知ることなしに。

恐ろしいもうひとつの要素は、中身が、不人気な国内改革に基づいているからです。国内で改革を行おうとしても議会で賛成を得られなかったものを TPP の交渉を使って変更を強制しようというわけです NZ の在米大使で元 NZ 首相マイク・ムーアは昨年 12 月にこう言ってます。『私の国では 1980 年代、通商政策を使って国内改革を指導した』と。まさに、彼らは TPP を使って同じことをやろうとしてるんです。これは、多国籍企業の利益を満たすための規制変更です TPP は、秘密裏に交渉され、幅広い国内法を標的にし、不人気で国内では支持されていない政策を実行するために使われ、企業は将来こうした TPP のルールを侵害する場合には直ちに政府を提訴することができる。こうした理由から、私たちは TPP に反対しています民主主義では、国民に選出された代表者が法律を定めるというのが根本的な原則ではないでしょうか。そして、国内法を国際裁判で覆すということ、これは民主主義ではありません。私たちが何十年ものあいだ闘ってきた私たちの理念であり、この理念を覆すものであります。

第 231 回例会　クリスマス会

ゲストの田中郷子さんのリードで NZ 国歌を斉唱

呉橋会長挨拶

田中郷子さんの素晴らしいソプラノと村上祥子さんの軽快な伴奏に誰もが魅了されました

今年ご結婚された佐藤慎平さんと真弓さんのご挨拶

今年は若者たちによるビンゴで盛り上がりました

柿狩りでお世話になった太津さんとゲストのキャロルさん

柳田名誉会長のご挨拶でお開き